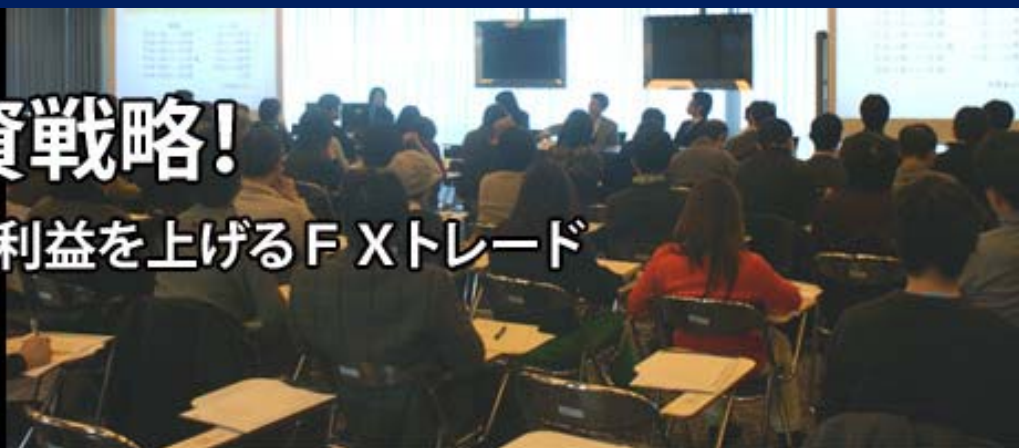


カリスマの投資戦略!

「100年に1度の危機」で利益を上げるFXトレード

-2009年上半期-



2009年1月31日、トレーダーズ証券のセミナー会場にてパネルディスカッション形式のセミナーを開催しました。

元為替ディーラー、超有名ストラテジスト、億単位を稼ぎ出す主婦トレーダー……立場は違えど、同じ為替相場を長年見つめてきた4人。

当社のマーケットレポートやセミナーで活躍する為替のプロ4人が集結し、2009年上半期の相場展開について大いに議論を繰り広げていただきました。

いま一番注目している通貨ペアは何か、どのような戦略で勝ちに行くのか——普段聞くことができないプロの本音にも迫りました。

このレポートでは、120分にも及ぶ討論のほんの一部をご紹介します。みなさまのお取引において少しでも参考になりましたら幸いです。

動画は、トレーダーズ証券の取引口座へログインし、投資情報ページよりご覧ください。
(口座をお持ちでない方 [口座開設こちら](#))

もくじ

・パネリストのご紹介……………P2

・セミナー内容

Q1-1. 2009年 円高は続くのか? ……P3

Q1-2. 円売り介入はありえるか? ……P3

Q2. 米景気対策はドル買い材料? ……P4

Q3. 通貨のパワーバランスは今度どう変わる? ……P4

Q4. 2009年上半期に注目している通貨ペアは? ……P5



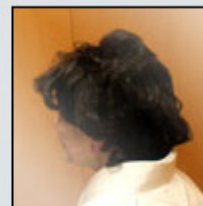
山中 康司氏



森 好治郎氏



雨夜 恒一郎氏



池辺 雪子氏

パネリストのご紹介

■ 山中 康司氏

1982年慶応義塾大学卒業後、バンク・オブ・アメリカ入行。
1983年から為替トレーディング業務に従事し、1989年バイスプレジデント。
1993年プロプライエタリー・マネージャーとして債券、デリバティブ等の取引にも携わる。
1997年日興コーディアル証券に移り、日興シティ信託銀行外為推進課長。
1999年為替資金部次長として為替トレーディングとマーケティングを管理。
2002年金融コンサルティング会社アセダントを設立、取締役。
2003年株式会社アップフロント取締役兼務。

テクニカル分析と金融占星術を組み合わせた独自の為替予測を行い、各社にレポートを配信。セミナー講師やコンサルティング等もつとめている。著書に「株の 買い時売り時がズバリわかる本」(VOIVE)、「金融占星術入門」(パンローリング)、「投資手帳」(同)。内外の専門誌への執筆、セミナーDVD等多数。

■ 森 好治郎氏

米国CTA(商品投資顧問)ライセンス所持のフューチャーズ・マーケット出身ストラテジスト。
米国フューチャーズアナリスト時代に培った独自分析手法を武器に外国為替ストラテジストに転身、現在に至る。国内外の新聞・テレビ・ラジオ出演多数。

1993年 全米証券取引業協会(NASD)商品投資顧問(CTA)資格
1998年 金融先物取引業協会 内部管理責任者資格
2001年 証券内部管理責任者資格日本テクニカルアナリスト協会 認定テクニカルアナリスト(CMTA1)
現在トレーダーズ証券にて [お客様限定レポート「Trend Perspective \(通称:森レポート\)」](#)及び [「Technical Outlook」](#)を好評執筆中。

■ 雨夜 恒一郎氏

早稲田大学商学部卒業後、外銀で20年以上にわたり外国為替業務に従事
1991年 スイス銀行 FXマーケティング ディレクター
テレビ東京、日経新聞など各種メディアに定期的に出演、コメント。
「ユーロマネー」誌における東京外国為替市場人気ディーラーランキングに上位ランクイン。
1996年 JP モルガン 外国為替部 バイス・プレジデント
2000年 BNP パリバ銀行 外国為替部長
テレビ東京の経済番組「モーニングサテライト」に定期的に出演。
日経新聞、ロイター、ブルムバーグ、AFP など各種メディアにコメント多数。
2006年 レイン・プランニング設立。自己資金運用の傍ら、フリーランスの立場で情報提供、投資セミナーなどを手がける。
現在トレーダーズ証券にて [お客様限定レポート「FX Market Insight」](#)を好評執筆中。

■ 池辺 雪子氏

株や商品先物などで30年以上の投資経験を持ち、2000年からFXを開始。8年間にFXであげた利益は8億円を超える。2007年春、脱税容疑で起訴。同年夏、執行猶予刑が確定。現在、自らの経験をもとに投資・納税に関するセミナーおよび執筆活動を行っている。著書『あの4億円脱税主婦が教えるFXの奥義』(扶桑社)が発売中。 [FXクイーン・池辺雪子の公式サイト](#)

セミナー内容

Q1-1. 2009 年も円高は続くのか？

【雨夜氏】

向こう 1-2 ヶ月は円高推移。ただ、去年のような急激な円高ではなく高値圏でのみみ合い。リスク許容度が高まるためには、株が上昇することが必要条件。その意味でもオバマ政権の滑り出しに注目。

【山中氏】

年前半は円高。米国と日本で比較した場合、円のほうが買われやすい。ドル/円は 124 円台から 95 円台までの下落幅の 127% (フィボナッチ比率による) を、2008 年 8 月の戻り高値 110 円台からの下落に当てはめると 75 円を瞬間的に試す可能性も。

【森氏】

ドル/円に対する円高・クロス主導の円高・円独歩高、どのパターンになるのかがポイント。ドル/円は、エリオット波動的に 2-3 月あたりに 87 円 10 銭を下回った場合にのみ、82 円 30 銭までオーバーシュートする可能性あり。介入警戒感があるので 85 円が心理的なサポートになる可能性。

【池辺氏】

ドル/円は、360 円からの長期下降トレンドラインが現在サポートとして機能している。5 年サイクルからしても、今年が大底の可能性。底値探しには楽しみな年。

Q1-2. 円売り介入はありえるか？

【山中氏】

協調介入は絶対はない。あるとするなら日銀の単独介入。ドル/円が 85 円を下抜けると当局は介入を臭わせ、80 円台前半もしくは前回安値の突破で介入実施の可能性。

【森氏】

「株安＝円高」の連鎖で金融恐慌のようなリスクが高まった場合にのみありえる。ただしその場合は、日銀の単独介入によるスミージングオペレーション。あくまでボラティリティを抑えるための介入にとどまる。

【雨夜氏】

前回安値 79 円を割りこまない限り、介入はない。アカウントビリティが求められる現在、財務省も結果が伴わない限り介入をしようとは思わないだろう。また、5 年間介入をしなかった間に、財務省の役人や日銀の為替課のメンバーも入れ替わってしまい、介入のやり方を知っている人がいない可能性も。

【池辺氏】

榊原元財務官は 85 円から介入があるだろうと言っていたが、一個人投資家の立場としては、介入の有無や水準以前に円高になっては困るトレードをしなければいいだけ。円高ならショートから入れればいいと思っている。

Q2. 米景気対策はドル買い材料？

【森氏】

ポリシーミックスの観点からはドル安と言えるが、100年に一度の金融危機においては**政策期待によりドル高が進行**(円を除く主要通貨に対して)と思う。ただし、議会の保護主義を鎮めるためのガス抜きのドル安誘導は定期的に行われる。

【山中氏】

ドル全面安となるリスクがある。積極財政を行う一方で財政赤字は過去最大に膨らむ。ABX 指数(トリプル A)の下落が示すように、米国債がトリプル A の格付けだからといって安心はできない。市場の目が米財政赤字に向き、米国に対する不安感が募れば**2009年はトリプル安の可能性も**。

【雨夜氏】

教科書的に、財政緩和+金融緩和の組み合わせは通貨急落。ただ、市場が**米景気対策を好感する展開となればドルが上がることも**十分考えられる。米財政赤字が1兆ドルを超えることは懸念材料であるものの、マーケットは悪材料をまったく気にしない時もある。

【池辺氏】

米財政赤字は長期的に多額となり、**いま現在はドル売り材料**と見ている。ただし、米景気対策の効果が表れ、人口の多いインドや中国といったアジア圏主導で世界経済は回復できるのでは、と思っている。

【森氏】

米財政赤字はたしかにドル安要因。ただし、米長期金利が50年来の最低水準に下がっている事実は見逃せない。また、オバマ新政権のもと「オバマボンド(人民元建て・円建ての米債)」を発行する話も浮上している。このように**米債の暴落を避ける政策を米国がとっていることも念頭においておくべき**。「オバマボンド」という話題が今後出てきたら、これはドル買い材料。

Q3. 通貨のパワーバランスは今度どう変わる？

【山中氏】

北米通貨 < 太平洋通貨 = 欧州通貨 < 円という方向に動いていく。米ドルは財政赤字に対する不安から下落予想。金融占星術の観点からは、2009年±1年にドルが底をつける可能性が高い。現段階ではまだ底をつけたとは思っていない。

【池辺氏】

当面は現在の状況が続くと思う。ポンドだけが新安値を更新しているので、軟調に推移するのではなか。

【雨夜氏】

ポンド < カナダドル < 円 < ユーロ・スイスフラン < 米ドル < 豪ドル・NZドル。円は、向こう1-2ヶ月は円高だと思うが、年後半には円安に。オバマ新政権のもと、市場のセンチメントや価値観が転換する可能性。期待が芽生え、マーケットがそれを先取りする展開となるのでは。

【森氏】

不人気投票の勝者選比的な展開になると思う。欧州通貨売りの円高、ガス抜きのドル安に対する円高と、**不人気投票の中で常に円が買われやすくなってくる。**

Q4. 2009 年上半期に注目している通貨ペアは？

実際のセミナーでは、具体的な売買戦略についてもうかがいました。動画は、トレーダーズ証券の取引口座へログインし、投資情報ページよりご覧ください。(口座をお持ちでない方 [口座開設こちら](#))

【池辺氏】

豪ドル/円とトルコリラ/円

RSI13 と 42 の乖離幅を使ったストラテジー

さらに円高が進行すれば、3~5 年程度の長期的なポジションも仕込みたい

【雨夜氏】

ユーロ/ポンド

BOE と ECB の金利逆転や英金融機関のリスクなどに注目

パリティの可能性

【森氏】

ユーロ/ドル

ボラティリティが高く不確実性が高いなか、誰もが情報収集できる通貨ペア
イベントリスクをとっていくトレーディング

【山中氏】

ドルインデックス

FINEX の構成比率に近い割合で、分散投資的にドルを売る。

ドル売りのシグナルが出たら仕掛ける

ほかにも、質疑応答で以下のような質問にお答えいただきました。

2008 年自身のトレード成績は？

RSI 以外に使っているテクニカル分析は？

テクニカル分析で参考になる本は？

FX 取引をする際に役立つニュースソースは？

スワップが安くなっている中、どういったトレードをすればいいのか？

時間の都合上、質疑応答の場でお答えいただけなかった質問に対しては、後日パネリストの方々から回答をいただき、セミナーをお申込みくださった方全員に送らせていただきました。